

カッターちゃん

発行元



毎日新聞茅ヶ崎北口販売所
〒253-0061 茅ヶ崎市南湖1-1-28
TEL (86)4797 FAX (40)3835

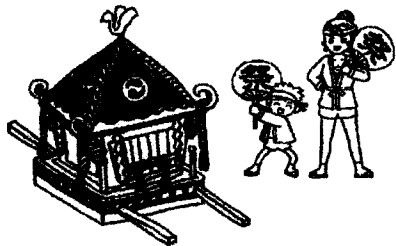
茅ヶ崎の民話上演

茅ヶ崎
民話の会

◎浜降祭の始まり

(南湖)

県指定の無形文化財。
暁の祭典と言われている
浜降祭の伝承。



◎日時場所

7月15日(土)午後2時~
図書館第一会議室

◎えな塚物語

(西久保)

源頼朝の愛人、丹後の局が
懐妊。妻・政子の迫害を逃れ
るため、大庭荘の懐島景義の
邸に預けられ、月満ちて無事
男子を出産した。その折の
「えな(胎盤)」を
埋めた塚が
西久保に
有ります。



問合せ先 (86)8749 茅のめ 江目

汐風のひとりごと

【㊦ 白内障を手術して思うこと】

伊藤要次
昭和12年東京生まれ。79歳。
横浜で34年間
教師を勤める。
定年退職後
タレント経験有。
茅ヶ崎市在住。



昨年6月頃のことです。茅ヶ崎駅周辺を歩いていると、いつも見慣れている街の景色が霞がかかっているように少しぼんやり見えるのです。(もしかすると白内障が進んでいるのかもかもしれない)、そう思って私はすぐに行きつけの眼科のお医者様の診察を受けました。

「伊藤さん、白内障が進んでいますね。手術をしましょうか。」

お医者様の進言に従って私は白内障の手術を受けることにしました。紹介状を書いていただき早速茅ヶ崎市立病院の眼科で受診しました。でも手術をするまで約3ヶ月程待たなければなりません。高齢化が進んでいる現状では仕方がないですね。そして今年の2月20日に私は妻に付き添われて入院しました。その日の午後に右眼を、1日置いて22日に左眼を手術しました。恙なく手術を終えて24日に無事に退院することができました。私の眼はお陰様で今まで以上によく見えるようになりました。

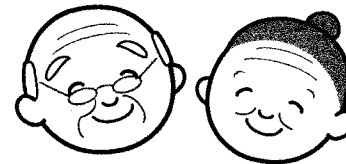
ところで4泊5日の入院で両眼の白内障手術をしたのですが、病院に支払ったお金は幾らだったでしょうか。病院に支払ったお金は40780円でした。

多額の国民保険料を支払っているのだから、これ位の金額で済んだのかもかもしれません。鼠径ヘルニアが再発して手術を受けた時には25000円程だったと記憶しています。国や市町村の財政が厳しさを増している現状を考えるとこれでもいいのかと考えさせられました。高齢者優遇ではないかと思いました。でも年を取れば誰もが体に支障を生じ、働いて収入を得ることが難しくなります。病気がちにもなるでしょう。高齢者への給付が多いのはそれだけその時期に多くの支えが必要になるからです。一方、若い人たちも不安定な雇用に苦勞しています。子育て世代の負担も増えています。支えを必要とする世代は高齢者ばかりではありません。だからと言って高齢者の給付を削って若者に振り向けるという方策でいいのでしょうか。私は両方しっかりやらなければならないと思います。どうしたらいいのか、今の日本はこうした問題を突きつけられているのです。高齢者にも若者にも突きつけられている問題なのです。全ての人々がこの問題を我が事として考えなければいけないでしょう。政治家たちは国民に新たな負担を求める苦い言葉は言いません。そうこうしているうちに国の借金は膨らむ一方です。社会保障をお荷物と捉えずに必要なこととして、支えを必要とする人々へきちんと分配する施策をどうしたら実現できるのか、国民全体で考える時期に来ているのではないのでしょうか。

ともかくも私の眼は以前にもましてよく見えるようになりました。視力も著しく改善されました。眼がよく見えるようになると生きる気力も自ずから湧いてきますね。退院して自分の身の回りを見てあまりにも埃っぽい家にびくりしてしまいました。気がついた所は私は掃除をするようにしています。でもこの見えるようになった眼で世の中の様々な事象をしっかりと見つめることも肝要です。これまで以上に新聞を読み、テレビニュースを見て自分の考えや意見をまとめようと思っています。虫歯のない28本の歯と同様にこの見える眼も大切にしよう私は思いを新たにしています。

「世の中の 何を見据えむ

手術して 視力戻りし この見ゆる眼に」



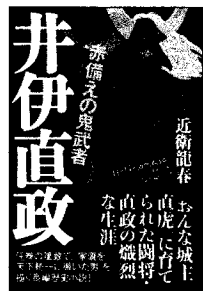
毎日の本棚



赤備えの鬼武者 井伊直政

近藤 龍春：著 定価：本体1800円(税別)

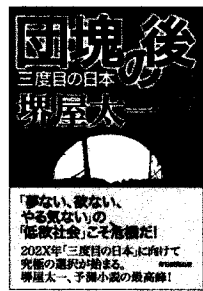
〈女城主 直虎〉に育てられた闘将・直政の熾烈な生涯。徳川に忠誠を誓い、所領を失った井伊家を再興させ、戦国の世を駆け抜けた「赤鬼」井伊直政。家康を守り抜き、豊臣との戦いの前に散った〈戦場の人生〉が、いま生き生きとよみがえる！ 圧巻の筆致で、「家康を天下統一に導いた男」を描く長編歴史小説！〈四六判/336頁〉



団塊の後 三度目の日本

堺屋 太一：著 定価：本体1600円(税別)

ベストセラー「団塊の世代」の著者が、団塊がリタイアした後の日本の姿を描いた予測小説の最高峰！ 少子高齢化、経済停滞、財政危機——。2020年東京五輪の後こそ深刻！ 「夢ない、欲ない、やる気ない」の「低欲社会」から這い上がるために、202X年「三度目の日本」に向けて究極の選択が始まる。圧巻のストーリーを精緻な筆致で綴る問題作！〈四六判/320頁〉



毎日新聞出版の最新刊から厳選！ ご注文は茅ヶ崎北口販売所まで

◎大和・泉の森(ハナショウブ) 見頃：6月上旬～下旬

引地川源流域に広がる泉の森は、自然環境が保全され多くの野鳥や昆虫が生息する自然の宝庫。四季折々、約450種の植物や50種の野鳥を観察することができる。散策路が整備された約42haの緑地には、しらかし林(県天然記念物)、移築復元された江戸時代の民家(市指定重要有形文化財)、直径3.64mの水車、日本初の本製斜張橋など見所がたくさん♪自然林や水源を巧みに生かした湿性植物園のハナショウブは今まさに見頃で、約3千株が白や紫や黄色の彩りを見せている。更に、水遊びのできる小川、ザリガニや魚釣りのゾーン、木製遊具、無料のデイキャンプ場(鍋や包丁、鉄板など必要な器具も無料で貸し出し。要予約)と、遊びどころも充実！ “しらかしのいえ”には、しぜんかんさつ園、生き物展示、展望デッキ、キッズコーナーもあり、年間通して自然に親しめるような行事を開催している。

〔交通〕 小田急線・大和駅から徒歩25分。または相鉄線・相模大塚駅から徒歩15分

〔問合せ〕 自然観察センター・しらかしのいえ 0462(64)6633

ふれあいキャンプ場 0462(60)5795

